



理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所大

かつてないほどの早い梅雨明けに一喜一憂したのも束の間、凄まじいコロナ新規感染者の増加。まだまだこのウイルスとの闘いは続きそうです。

先月、日頃からお世話になっている某大学病院の教授とお会いする機会がありました。当然コロナの話題が中心となり、その中で興味深かったのが、「コロナウイルス側に立って考えてみる」ということでした。ウイルス側にとっては、絶滅させられないように生き残る事が大前提。発生当初の強さから段々と弱くなっていき、生き残っていくというものでした。又、経済的な観点から蔓延防止等の発令については否定的だが、感染症法上の2類相当とされている新型コロナウイルスをインフルエンザと同様に5類扱いの検討は、必要ではないかとの話も聞かせて頂きました。

この2類相当から5類への分類変更については、感染症法上における取り扱いも変更されます。医療費公費負担、感染者の全数把握、入院勧告、就業制限、無症状者への適用等が該当します。感染者の全数把握については、かなり議論もされておりますが、一律に変更することは



現実的ではありません。バランスを取りながらの切り替わりが必要と考えます。「コロナウイルス側に立って考えてみる」と、お聞きしましたが、このような非常時こそ、目先に捉われずに多面的、全面的、根本的に考える事が重要と思います。未来志向の前提の元、議論が進むことを願います。

最後に、8月に入り複数名の患者様と職員に新型コロナウイルス感染が確認されました。皆様にはご心配・ご迷惑をおかけして申し訳ございません。今後も保健所からの指示を仰ぎながら、新型コロナウイルス感染の拡大防止に全力で取り組んでまいります。病院、施設等における面会については、従来通り制限を継続する予定です。変更等がある場合には、当法人のホームページにて通知させていただきます。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)

- ・ふよう病院
- ・ふよう病院介護医療院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション



2022年6月院内研修 病棟における食中毒対策

発行者：サラヤ株式会社

内 容：

今回の研修は久しぶりに外部講師を迎え、少人数の集合研修と参加した26名以外は書面での研修をする形で実施しました。

食中毒対策の基本は、やはり手指衛生であり、細菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」の3つのキーワードを意識して日々の業務に当たることと、その道に詳しい専門家の最新の情報に触れることの大切さを再認識しました。

永年勤続表彰、優秀職員表彰

当法人には永年勤続表彰制度と優秀職員表彰制度があり、毎年8月1日の創立記念日に合わせて、勤続5年、10年、20年、30年の職員と、勤務成績優秀な20名への表彰式を実施しております。

今年度は合計51名が表彰対象者となりました。対象者の方へは理事長と院長より、日頃の感謝とお祝いの言葉と共に、賞状と金一封が贈られました。

< 永年勤続表彰 >



< 優秀職員表彰 >



院内研修会 安全対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、資料配布・回覧・各部署でのミニ研修としました。

高齢患者が多数を占める千葉芙蓉病院では、自分で危険の予測ができない方がほとんどです。皮膚が脆弱な方も多く、スキンテア（皮膚損傷）の可能性もあります。また、職員も安全対策に

は十分注意していますが、予期せぬインシデントが起きることもあります。

こうした状況を踏まえて、昨年度の院内のインシデント報告を取りまとめ、発表しました。職員それぞれが、自分の業務を省みて、改めて安全への取り組みを考える機会となりました。